

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 5 教科・領域 家庭 単元・題材等 布で作ってみよう

単元・題材等の目標 布の特徴を知り、ミシン縫いや手縫いで生活に役立つ物を製作し、生活に生かす。

○活用できる学校外の人材と内容等

保護者や地域の人など

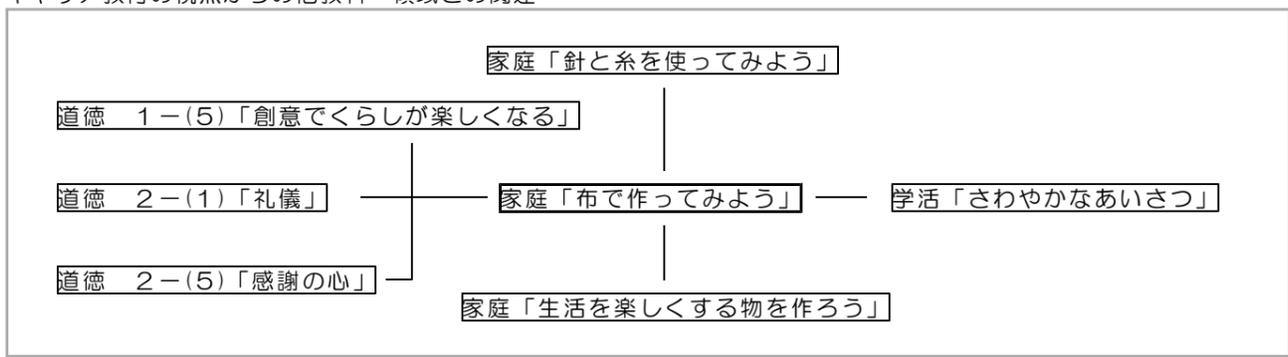
*来校してもらい、ミシンの使い方を教えてもらったり、ミシン縫いで製作するときの支援や手伝いをしてもらったりする。

○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度

*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

- ・製作で実習に取り組んだことと、生活との関連を考える。【職業理解能力】
- ・生活上の課題を見付け、製作を通して課題を解決しようとする。【課題解決能力】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント

本単元・題材に入る前に



*来校される人の人数の把握と、どのような支援をしてほしいかについて確認しておきましょう。
*ミシンの台数、種類、使い方などについて理解しておいてもらいましょう。

活用前の指導では



*生活上の課題を見付け、製作するものを考えさせましょう。

活用時の指導では



*作業中は、習熟の様子に配慮し、机間指導、個別支援を適切に行いましょう。

活用後の指導では



*教えてくれたことを思い起こさせながら、その後の製作を進めさせましょう。
*必要に応じて、製作の進捗状況を伝え、再度手伝いをお願いすることも検討しましょう。
*実習で製作に取り組んだことと、その後の生活との関連を考えさせましょう。

○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導

- ①布で作るものを考えよう
◆身の回りにある布で作られたものには、どんなものがあるか調べる。
◆布を使って製作するものを考え、計画を立てる。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●布で作られたものにはどのようなものがあるか調べる。 ●布を使って製作するもの考える。【課題解決能力】 <p>○○を作ることにしたよ。家の玄関に置くんだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ミシン縫いと手縫いを比較し、ミシン縫いの利点を話し合う。 ●ミシンの各部の名称と正しい使い方を知る。 ●次時の予定を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○織った布と編んだ布とがあることに気付かせる。 ○教科書等の作品例などから製作するものを決めさせる。 <p>あったら便利だと思うもの、生活の中で使うものを作りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ミシン縫いの製品と手縫いとを比べながら調べさせるとよい。 ○教科書やミシンの説明書を見て、使い方を理解させる。

評価の観点 ・布を使って製作するもの考えられる。

活用時の指導

- ②ミシンを使ってみよう
◆針のつけ方、仮縫い、上糸と下糸の付け方、直線縫いなどができるようにする。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●はじめのあいさつをする。 ●ミシンの正しい使い方を確認する。 ●針の付け方、上糸と下糸の付け方などを練習する。 ●直線縫いの練習をし、布端の始末も行う。 <p>手順に沿って、製作を進める。【課題解決能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○来校された人の紹介をし、あいさつをさせる。 ○教科書や掲示資料等で確認させる。 ○児童の間をまわりながら、作業の状況を確認したり個別指導を行ったりする。 ○分からないところは積極的に聞くようにさせる。 ○教えてもらったときは、お礼をしっかりと知らせる。 ○手順に沿って、手縫いやミシン縫いで製作を行わせる。

評価の観点 ・ミシンの使い方が分かり、手順に沿って、製作を進めることができる。

活用後の指導

- ③楽しく作って使おう
◆計画にしたがって、ミシン縫いや手縫いで製作する。
◆自分の作った作品を使ってみた感想を発表し合う。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●計画や手順に従って、製作を進める。 ●製作を通しての反省をし、感想を発表する。 <p>ミシンははじめてだったけど、ていねいに教えてもらったので使えるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製作した作品を使っての感想を発表し合う。【職業理解能力】 <p>玄関に置いて使っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○個別指導、支援の充実を図るようにする。 *可能ならば、必要に応じ、手伝いや支援を改めてお願いする。 ○ミシンの使い方を教えてもらったことに対する感想も発表させる。 ○製作した作品はどうか、家庭でも手縫いやミシンを使ったかなど、学校での学習を生活に生かしているかの観点から振り返らせる。

評価の観点 ・手順や計画に沿って、製作を進めることができる。
・製作してみたの感想や、作品を使っての感想を発表する。